★★令和２年度

小坪小だより

7月号 No. 396

横浜市立小坪小学校　　校長　髙田　桂太郎
横浜市港南区港南台４－１１－１　　電話８３２－０６１７

★★

思いがつながる小坪小

校長　髙田　桂太郎

全校登校が始まり 2 週間が過ぎました。保護者、地域の皆様には、子ども達の健康観察や登下校の見守りなどにご協力いただき感謝申し上げます。子ども達は、検温、マスクの着用、手洗いの励行など感染症拡大防止の習慣が身に付いてきて、落ち着いて学習活動を進められているようです。

しかし、夏を迎えるにあたって心配なのが熱中症です。とくにマスクを着けたままの運動は熱中症のリスクが増すことが考えられます。本校では、体育や休み時間など、風通しの良い屋外で体を動かすときは、友達と距離をとってマスクを外してもよいことにしています。また、屋内でも暑かったり息苦しくなったりしたときは、人が混み合っていない場所や窓の近くでマスクを外して深呼吸するよう声をかけています。今後、さらに気温が高くなることが予想されます。感染症拡大防止と熱中症対策の両方に配慮し学習活動を進めてまいりますので、お気付きの点があればお知らせいただけると幸いです。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

先日の中休み、熱中症計の数値を確認しに校庭へ出た時のことです。一人の子が木陰に立っていました。視線の向こうには、クラスの仲間らしい子たちが何人かで遊んでいました。鬼ごっこでしょうか、そのうちの一人がこちらに走ってきて、そのまま走りぬけていこうとしたときです。木陰に立っていた子が小さな声で「私も仲間に入れて･･･」と言ったのです。走りぬけようとした子は立ち止まって振り返りました。一瞬、間があり「いいよ！」と答えると校庭の真ん中にいる仲間に「〇〇も仲間に入るぞ！」と大声で言いました。校庭からはいくつもの「おー！」という返事が返ってきました。木陰に立っていた子の表情がぱっと明るくなり「いいよ」といった子と一緒に校庭の真ん中へ走っていきました。
「仲間に入れて･･･」に込められた思いが多くの仲間へつながっていく様子は、私にとっては映画のワンシーンを見るようで、心がほっとして、なんとも幸せな気持ちになりました。

感染症拡大防止のため、ソーシャルディスタンスや新しい生活様式など、人と人との距離の取り方が話題になることが多くなりましたが、自然と互いの思いを受け止めあえる子ども達の姿を見ていて、心と心を近づけることの大切さを改めて学んだような気がします。同時に、そのような子ども達が安心して伸び伸びと学校生活が送れるようにしていくために職員一同、頑張っていこうと思いを新たにしました。

7 月から給食が始まり、学校は通常通りの学習活動へ戻ってまいります。まだまだ感染症拡大防止対策は続きますが、子ども達の安心・安全を第一に進めてまいります。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましても引き続き、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。